くまのもりお通信

Vol.11 2022.Mar

2022年1月9日、金沢城公園の新丸公園にて2年ぶりに金沢市消防出初式が開催されました。大徳分団の梯子演技者の廣瀬慎一朗さんと一緒に撮らせていただきました。

TOPICS

令和4年度予算要望書を提出

1月11日に、創生かなざわ玉野道会長とともに、会派創生かなざわの令和4年度の予算要望書を山野市長に提出しました。

皆様からのご意見、心よりお待ち致しております。　info@kumanomorio.com

くまのもりお事務所
TEL.076-256-3757 FAX.076-256-3836
金沢市みどり2-6-2　〈自宅〉金沢市松村7丁目36-13

金沢市役所〈創生かなざわ〉
TEL.076-220-2448 FAX.076-223-0116
金沢市広坂1-1-1

発行／金沢市議会議員　熊野盛夫

HP随時更新!→

これからも、市民の皆様としっかりと向き合い市政に取り組みます。

日本国内では、平成20年(2008年)を機に、また、金沢市では、2020年の国勢調査において、人口減少局面に突入しました。いわゆる、少子高齢化社会の進行です。この状況は今後20年間続くとされています。非常に大きな課題です。

しかし、人口問題について考える際、東京大学の神野直彦先生が、とても大切なことを示唆してくださっています。

「人間は人口ではない。人間を没個性的に把握する人口という言葉は、重商主義が生み出した言葉である。人口が政策目標とされる時には、人間を目的とする社会ではなく、人間を手段とする社会が目指されていることを忘れてはならない。つまり、人間を労力や兵力の担い手としてのみ認識されるようになると、人間は人口になってしまうのである。人間を没個性的な人口と捉えると、人間が社会を形成して生活を営んでいるという真理を見失ってしまう。人間は、家族や友人・隣人などという様々な絆を創り出しながら、社会を形成して営んでいる。ところが、人間を人口と見做すと、人間は孤立した砂のような存在として理解されてしまう」

人口が減少しても、慌てることなくお一人お一人としっかり向き合って市政に取り組むことを肝に銘じます。

皆様のご意見、感想、声をお寄せください。

金沢市議会議員
熊野盛夫

令和3年度 金沢市議会 臨時第１回議会

令和3年4月21日（水）

女性安心生活支え合い支援事業の相談の場について

孤独や孤立の解消のために相談の場をつくることは、非常に重要であると思われるが、その場は、SNS等を利用したデジタル空間の場なのか、あるいは現実的な場を想定しているのかお聞きしたい。また、リアルな場が最適なのは理解できるが、デジタル空間も気軽さや匿名者として一歩を踏み出す際のハードルの低さから、高い相談率につながるのではないかと思いますが、いかがでしょうか。

〔市長の答弁〕

民間団体ならではの知見や強みを活用してほしいが、そのためには直接顔を合わせての相談も必要かもしれない。電話、メール、SNS　など様々な手法で不安を抱えた女性が互いに支え合う居場所を提供できるよう、受託する団体と話し合いながら事業を実施していきたい。

◎臨時第1回議会のその他の質疑

子育て世帯等に対する緊急支援策について／ワクチン接種体制等の充実強化策について

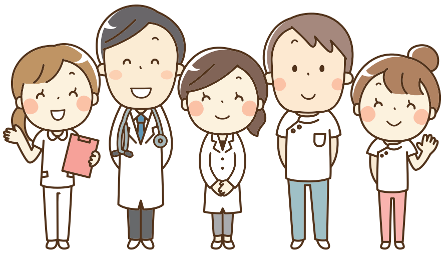
詳細は、市議会議事録HPを御覧ください。

令和3年度 金沢市議会 臨時第2回議会

令和3年5月31日（火）

高齢者施設等従事者感染症検査費について

各施設においてPCR検査を実施していく中で陽性者が出た場合、小規模の介護施設等では、施設内で十分な対応ができなくなることも想定されます。市として各施設ごとにフォロー体制ができているのでしょうか。



〔市長の答弁〕
高齢者施設等でのクラスターが発生した場合、他施設から応援職員を派遣する体制を構築するため、昨年度県は、いしかわ福祉施設相互応援ネットワーク協議会を立ち上げ、本市もその一員として応援職員の派遣が可能な施設を募集してきた。さらに、市内の施設や派遣を行った施設に対して、派遣職員1人当たり２０万円の本市独自の協力金を支給し、施設間の協力が円滑にわれるよう支援しており、引き続き県と連携ながら取り組んでいく。

◎緊急第1回議会のその他の質疑

感染拡大防止対策について／地域経済対策について／病院事業について

詳細は、市議会議事録HPを御覧ください。

令和3年度 金沢市議会 6月定例月議会

令和3年6月7日（月）～6月21日（月）

GIGAスクール構想の現場について

端末がオンの状態で、先生が教壇で話をされても、その話に対して子どもたちの注意力が極端に落ちている状況であるとお聞きしました。また、授業中の端末の使用について、それぞれの先生に任されているところが大きく、先生間、あるいは学校によって、かなり利用の度合いの差があるのではないかといった御指摘もいただきました。これらの課題について、教育長の御見解をお聞きいたします。

〔教育長の答弁〕
端末を活用する場面と活用しない場面を効果的に授業の中で組み合わせながら、児童・生徒が集中して学習できるようにしている。加えて、指導の基本を示したＩＣＴ版金沢型学習スタイルに基づく実践を進めるとともに、学習用端末等を効果的に活用した好事例を教育委員会発行のＧＩＧＡスクール通信や交流会の開催を通して共有することで、学校間で端末の利用度合いに開きがないように努めている。また、私自身も実際に学習用端末を使っている授業を見させていただいており、積極的に先生方と意見交換している。

高齢者に対するデジタル戦略について

中能登町が、高齢者やしょうがい者がスマートフォンのアプリを使いこなしたり、ネットショッピングを気軽に利用したりする環境を提供しようとデジタル活用支援員による実証事業に乗り出しました。高齢者やしょうがい者の社会とのつながりをデジタルによって強固なものとし、さらに若年層の新たなビジネス創出にもつなげる狙いを持ったすばらしい試みだと思いますが、いかがでしょうか。

〔市長の答弁〕
デジタル活用支援員は、デジタル機器の操作を習得したい高齢者にとっては大変有効な施策だと思っている。金沢市としてもこの制度を活用し、地域の公民館等において講習会を開催したい。

◎6月定例月議会のその他の質問

防災について（避難指示への変更、車椅子ユーザーの避難所経路の確保）／カーボンニュートラルとガス発電事業民営化について（気候変動イニシアチブへの参加、コンプライアンス）／マスクの着用に関して（大阪府、小５児童の体育授業後の死亡と厚労省の熱中症対策としてのマスク着用の見解の周知）

詳細は、市議会議事録HPを御覧ください。

令和3年度 金沢市議会 8月緊急議会

令和3年8月27日（金）

12歳以上15歳以下の人へのワクチン接種について

新型コロナウイルスワクチンは緊急事態への対応であり、治験に十分な時間を確保したわけではありません。短期的には重篤化を防ぐ効果はありますが、長期的な影響について未知の部分も多く、接種そのものに不安を抱く人もおり、低年齢化するほど不安は大きいとのデータも示されている中、どのように対応していくのかお聞かせください。

〔市長の答弁〕

ワクチンの有効性や安全性については、海外で確認された治験データなどを基に、国がホームページ等で情報提供している。本市も、保護者、学校関係者、医療機関などに対し、こうした情報を周知することで、接種を希望しない人を含め不安の払拭に努めていきたい。

新型コロナワクチンの有効性・安全性について

◎8月緊急議会のその他の質疑

感染症拡大防止対策について／地域経済対策について

詳細は、市議会議事録HPを御覧ください。

令和3年度 金沢市議会 9月定例月議会

令和3年9月3日（金）～9月17日（金）

学校給食における魚介粉末だしの直接摂取と野菜の皮のまるごと使用の実施について

魚介粉末だしを学校給食に混ぜただけで、児童の低体温が劇的に改善され、基礎体温が上昇し免疫力が向上した結果、欠席者数が減少した事例がありました。全国的にも広がりつつありますが、本市でも取り入れてみてはいかがでしょうか。

また、大阪府府中市立走井学校給食センターでは、魚介粉末だしに加え、大根と人参の皮をむかず調理しています。野菜の皮には、カルシウムの５倍をはじめ、葉酸、亜鉛、マグネシウム、ビタミンＥなどが２倍、他の栄養素もすべて上回っているデータが専門機関から示されています。それらの調理現場の視察に全国から多くの議員が訪れています。本市でも、野菜の皮ごと使用を実施してはいかがでしょうか。

〔教育長の答弁〕

本市の学校給食では、国の定める学校給食摂取基準や、学校給食衛生管理基準に基づいて、栄養バランスの取れた献立を作成するとともに、細菌の除去や異物の混入を防ぐための衛生管理を行い、児童・生徒の健康の増進と安全で安心な給食の提供に努めている。御提案については、他都市の状況を参考にすると、魚介粉末のだし汁の直接摂取や皮つき野菜の使用に際し、小骨や皮など異物を取り除くため、数回ふるいをかける作業が必要であり、時間と手間を要するということ、また、検収時に、皮つきなどで使用できるかどうか１本ずつ選別する必要があり、調理前に準備に時間を要すること、また、大根のひげ取りやレンコンの土取り作業を念入りに行い、チェックが必要である等、いろんなことがありますので、少し課題が多いのかなということを今考えている。

グリホサート系除草剤使用状況と今後の方向性について

子どもやペットの健康被害防止のため、国内外の先進自治体の事例も参考に、金沢市立学校や市の公園・施設等において発がん性などを指摘されているグリホサート系の除草剤の使用禁止を速やかに検討・対応する必要があるのではないしょうか。

〔市長の答弁〕

本市所管施設の除草については、人力や機械による草刈りを原則としており、除草剤を使う場合でも、安全性の高い薬剤を使用するよう周知を徹底している。今後も、除草剤を使用する必要がある場合には必要最小限とし、適切な使用方法を遵守したい。

◎9月定例月議会のその他の質問

金沢市の文化政策（コロナ禍の状況、文化芸術活動支援体制構築検討委員会の設置）／ゼロカーボンシティーの取り組み（CO2濃度上昇の見える化促進、海岸プラスチックやマイクロプラスチックの問題提起、自伐型林業）

詳細は、市議会議事録HPを御覧ください。

令和3年度 金沢市議会 12月定例月議会

令和3年12月3日（金）～12月17日（金）

少子化対策としての結婚対策について

国が想定する高齢化社会のピークは2040年です。まだ20年近く、さらなる超高齢化社会が進行していくことを考えると、少子化対策の根幹である結婚対策も急務であると思われます。

また、少子化も、全国的に政府の想定より３年早く進行していることに加え、コロナ禍で、婚姻数、出生数の激減も予想されています。御見解をお聞かせください。

〔市長の答弁〕

非常に危惧すべき状況であると思っている。将来にわたり活力ある社会を維持し、本市が継続的な発展を続けるためにも、ポストコロナ社会での少子化対策は急務であると思っている。

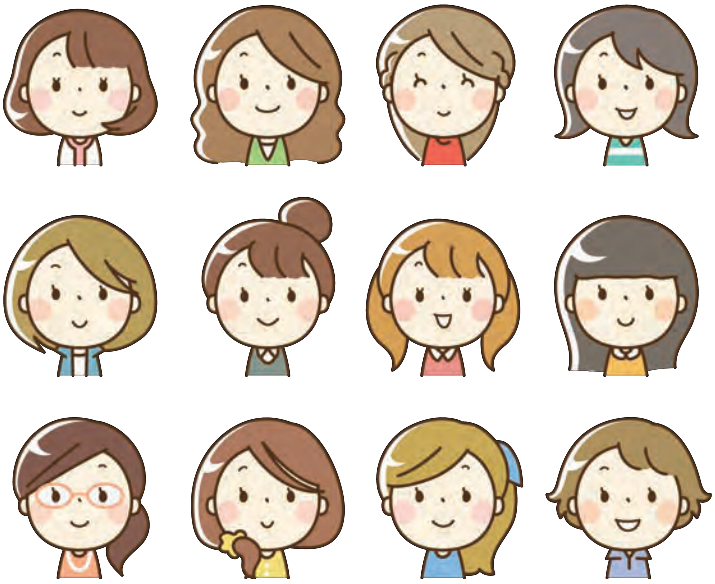
少子化対策を推進していくに当たり、婚活支援はもちろんのこと、子育て支援の充実、就労環境の整備など、関係部局が連携し、総合的に推進することが重要であると考えている。

女性安心生活支え合い支援事業について

４月に示された内閣府の交付金を活用した本年度の女性安心生活支え合い支援事業は、コロナ禍において、ややもすると埋もれてしまいそうな困難な状況にある多くの女性に寄り添った重要な事業ではないかと思われます。今後も、それら事業の継続、そして支援拡充が図られるべきではないでしょうか。また、来年度の国の予算化にかかわらず、市独自でも対応すべきと考えますが、いかがでしょうか。

〔市長の答弁〕

コロナ禍における困難や不安を抱える女性に対する支援は大変重要であると思っている。現在、受託団体の皆さんの御意見をこれからお聞きしていきたいと思っている。そんな中で、御提案の件も含めて、効果的な支援につなげていきたいと思っている。



先進的自伐型林業の取り組みについて

自伐型林業先進地域の高知県佐川町において、担い手の確保のため、地域おこし協力隊の制度を活用し、平成26年の５名雇用を皮切りに、これまでに35名の雇用につながり、３年間の任期満了期間後も10名が林業に従事し、町に定住しておられます。また、町では、木材搬出を容易にするために、山に道をつける作業の重要性を意識し、最低規模の機械が入る道幅を整備するための補助金を出しています。県の補助金の不足分を補っているとのことです。本市では、林業大学校を通じて人材が集まっていますが、さらに自伐型林業を目指す人材を地域おこし協力隊の活用によって集める方策や、ユンボなどの重機使用の現在の補助金の制度について、また、さらなる拡充についてのお考えをお聞かせください。

〔市長の答弁〕

地域おこし協力隊の応募を考えている方は、中山間地域に定住し、その地域に根差した自伐型林業への従事を希望する方も少なくないと聞いている。もともと、この地域おこし協力隊と林業は、親和性が高いと思っている。林業人材を育成、確保するという点からも、協力隊のお力をお借りするということは大変有効な方策であると考えている。どういう形で呼びかけていくことが有効なのか、研究させていただきながら、何とか取り組んでいくことができないか考えている。現在、林業大学校の修了生を対象に、施業用の機械購入に当たり、補助額の上限が288万円で、補助率２分の１の支援制度を設けているが、レンタルに要する費用は対象としていない。ただ、今後、専門コースの研修生向けに、上限額や補助率、補助対象を拡充することができないか、御提案いただいたように、検討していきたい。

◎12月議会のその他の質問

デジタル対策について（スケジュール見える化の影響）／少子化対策について（民間結婚相談所の活用や情報の一元化について）／女性安心生活支え合い支援事業について（利用者から寄せられた声）／ゼロカーボンシティへの取り組み（カーボンプライシングについて、農林水産業分野のCO_2削減について）

詳細は、市議会議事録HPを御覧ください。

金沢市のHP〈金沢市議会 議会中継〉で実際の質問の映像がご覧いただけます。

議員名一覧 → 熊野盛夫